



**学校目標 ふるさとを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成**

にこにこ笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子  
まじめにこつこつ勉強する子 ◎ こころと体をきたえ 進んで運動する子

## ゲームについて考える～オンラインゲーム、SNS等に関するトラブル～



テレビや新聞で、SNS による事件などのニュースが後をたちません。また、「ゲーム依存症」なども大きな社会問題として取り上げられています。実は、本校でもゲームや SNS での友達同士のトラブルや悩みなど、出てきています。先日の「神崎中校区生徒指導連絡協議会」では「オンラインゲーム」について挙げ、他の小中学校からも「オンラインゲーム」によるトラブルや生活リズムの乱れなど出され協議いたしました。また、本校では、「携帯電話等に関するアンケート」を実施いたしました。おかげで、児童の実態把握ができました。ご協力ありがとうございました。

今回のアンケートで気になるのは、1 日あたりのゲームの時間が長くなっている児童がいることです。原因の一つにコロナによる長い休校があげられるかもしれません。一日中家の中に居た子どもたちにとって 1 日〇時間という制限や約束を緩めざるをえないご家庭もあったと思います。長時間ゲームに没頭することが夜更かしにつながり、翌日の学校生活に支障をきたしています。これを機会に、もう一度「平日はきちんと宿題を終わらせ、1 日 1 時間まで」などのきまりを話し合い、決めたことは徹底していただければと思います。



また、「オンラインゲームをしたり YouTube を見たりしていますか」に関しては、「している」児童が 8 割以上となりました。学年が上がる毎に割合が高くなっているのが特徴です。特に「オンラインゲーム」では戦闘場面が多いゲームや「15 歳以上対象」という制限付きのゲームをしている子もいます。

現在の「オンラインゲーム」は誰かの家に集まる必要がありません。ボイスチャット（直接話ができる）機能を使いながらゲームができます。そのボイスチャットで会話はできるのですが、口調が荒くなったり暴言を吐いたりしていることもあるようです。友達の間で仲間割れをしたりケンカになったりすることがあり、ひどいときには、本来は仲間同士で協力して敵を倒すというゲームなのに、何人かが結託して、誰かひとりをターゲットにして、その子をゲーム上で攻撃して殺す、ということが起きているようです。

アンケートでも、「ケンカやトラブルになったことがある」という子もいました。その他、オンライン上の友達がどこの誰かさえわからない、知らないうちに「課金」して高額になっていた、というケースも全国では伝えられています。ご家庭においてオンラインゲームを許可される際は



- ①利用時間、終了時刻を決めて、守らせる。
- ②どのようなゲームをしているか把握しておく。
- ③大人の目の届く場所（居間など）や時間でさせる。ことが大切です。

お子様が「いじめにあわない」「いじめをしない」「犯罪に巻き込まれない」ためにも、インターネットの利便性ととも、その裏にある危険性を繰り返し教えることが大切です。改めてご理解とご協力をよろしくお願い致します。学校においても情報モラル等について継続して指導していきます。

何かありましたら、学校や担任にお知らせください。

\*神崎中学校校区では「午後 9 時以降は使用しません」と共通した指導をします。「生活のきまり」でも追加します。  
(裏面：「神崎市 児童生徒の携帯電話やスマートフォン等の利用に関する指針」)